



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年3月22日
5年度第39号

令和5年度修了へ この1年間もありがとうございました

★主役の荻っ子たちが自分たちで決め、体験し、成長できた1年間でした

学年の終わりを迎え、今週、各教室では春休みの予定や生活の決まりの確認や、教科書の残りのページを追い込みのように学習するなど、限られた時間を使い切って過ごしてきました。お楽しみの集会をしている学級もありました。集会のタイトルや目当て、合い言葉などに「思い出を作ろう」「〇〇先生ありがとう」「〇年生に向けて笑顔で」「〇年生になってもなかよくしようね」と言った言葉が使われていて、子供たちの思いが伝わります。集会にドッジボールや鬼ごっこといった体育館遊びがよく入っているのが、運動大好きな荻っ子らしいなと思います。また、教室でグループごとの劇を発表し合う学級もありました。面白いですね。

学校の主役はなんと言っても子供なので、子供が自分たちで決め、工夫できる学習の機会が大事です。そうして自分たちで決めたことをやってみて、成功も失敗も次の学びへとつなげていける、そういうたくましい子供へと、今年の荻っ子たちが確実に成長していることを感じる今日この頃です。



★これからもチャンスをとらえ思い切ってチャレンジ！自分を成長させていける子に

給食最終日の21日（木）には、今年度最後の「自学ノート」達成者の表彰を行いました。5冊達成のたびに渡す金シールを、今回は10名の子供に渡すことができました。毎日継続して自主学習に取り組んだ子供たち、よく頑張りました。一方、不定期に行ってきた受賞集会でも、年間を通じてのべ98名の子供を学校内外の大会の成績優秀者として表彰することができました。中には県での最高位にあたる賞をもらった子も複数名いました。素晴らしいです。



体育館のステージ上で授賞した際には、校長の話として「自分にできること、少し得意なこと、興味をもったことに思い切って取り組み、大会や作品の応募に挑戦することが自分の力を伸ばします。時々はいい賞がもらえ、自分へのご褒美にもなります。これからも時には思い切って挑戦してみましょう」と話してきました。子供たちには自分を成長させていける子になってほしいです。

★令和6年度からコミュニティ・スクール(CS)へ これからもよりよい学校づくり・地域づくりを進めます

これまで各種会や市の広報、今月初めの「荻の里」でもお知らせしてきましたとおり、この4月より黒部市内の小中学校はすべてコミュニティ・スクール(CS)となり、よりよい教育と地域の活性化を進めます。荻生小の場合はこれまでも家庭・地域のご協力の下、さまざまな教育活動に取り組んできましたので、その流れを生かし、子供たちの成長とよりよい学校教育のために、そしてよりよい地域づくりのために、皆様と共に進んでいけるものと確信しています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。

掘り出し いい顔いろいろ思い出スナップ

my カメラを片手にこの1年もたくさん写真を撮りました。これまでのたよりで掲載できなかったものを中心に何枚かを紹介します。

荻っ子のみんな、先生方、「取材」に協力してくれてありがとうございました。



給食はいつも気持ちよく大盛り



英会話の時間が大好きな1年生



宿泊学習の1コマ



虫が大好き「今日は何かまえたの？」



スマイル集会、第1位!



集会楽しいね



あらあら思わず前に出てきちゃったのね...



5年生と1年生で「大根抜き〜!」



6年生を送る会、準備中



荻っ子班で輪になって活動中



いっしょに考えようぜ!



給食おいしいよね〜!



自分の顔を彫るの、難しいな



6年生をしっかり見送るぞ



スキー学習、楽しいね

おまけの<ひとこと>さて、私はこのたびの異動で村椿小学校に転出することとなりました(涙)。荻生小学校では2年間、大変お世話になりました。今日の修了式でも、最後に一言子供たちへの挨拶を行いました。なんとと言っても「荻生小学校は子供も大人も全校みんなが仲良く関わって笑顔で過ごせる日が多い、素敵な学校でした」という一言に尽きます。いつも学校に協力的だった保護者・家庭、地域の皆様にも感謝!です。個人的な趣味であるこの「校長室だより」にもお付き合いいただき、ありがとうございました。なお、蛇足ではありますが「校長室だより最終号」を来週中にHP上でのみ発行します。是非、ご一読を。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。